

2025 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 JDSC
代表者名 代表取締役社長 加藤 聡志
(コード：4418、東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 作井 英陽
(TEL. 03-6773-5348)

通期連結業績予想の修正（上方修正）に関するお知らせ

当社は、2025 年 5 月 13 日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、以下のとおり 2025 年 2 月 13 日に公表いたしました 2025 年 6 月期（2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日）の連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 連結業績予想数値の修正（2024 年 7 月 1 日～2025 年 6 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	EBITDA
前回発表予想（A）	21,000	500	600
今回修正予想（B）	23,100	550	650
増 減 額（B－A）	2,100	50	50
増 減 率（％）	10.0	10.0	8.3%
（参考）前期実績 （2024 年 6 月期）	16,457	50	166

2. 修正の理由

当社はミッションである「UPGRADE JAPAN」、グループビジョンである「AI でデータの真価を解き放ち産業の常識を塗り替える」の実現に向けて、AI ソリューション事業、ファイナンシャル・アドバイザー事業及びマーケティング支援事業の 3 つの領域において事業展開を進めております。

売上高について、AI ソリューション事業においては、AI や DX への旺盛な需要に対して新規採用による組織拡大が順調に進展しており、堅調な売上を計上しました。生成 AI や LLM といった先端技術の実装事例が増加するとともに、AI ソリューションの横展開事例の増加や新規顧客の獲得、既存顧客からの継続受注もあり好調に推移しました。ファイナンシャル・アドバイザー事業においては、ファイナンス戦略アドバイザー及びスタートアップの資金調達助言等の案件を複数執行したことで順調に進展しました。マーケティング支援事業においては、紙のダイレクトメール（DM）発送代行において既存顧客の取引窓口の拡大や新規受注の獲得が順調に進展し、堅調な売上高となりました。以上から、前回発表予想を上回る売上高 231 億円の達成を見込みます。

営業利益及び EBITDA については、上述した売上高の堅調な推移により、順調な利益の結果となりました。人材採用や技術開発等への成長投資を継続しながらも順調に利益を創出できており、損益分岐を上回る利益創出フェーズに入ったとの認識から、成長投資を継続するという前提で前回発表予想を上回る営業利益 550 百万円、EBITDA 650 百万円の達成を見込みます。

今後も人材採用や技術開発等への成長投資を継続しながら、AI ソリューション事業、ファイナンシャル・アドバイザー事業及びマーケティング支援事業のいずれの領域でも売上高及び営業利益の増加と企業価値向上を実現してまいります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以 上